

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり						
施策の基本方針								
<p>子どもを安心して生き育てることができるまちづくりを目指し、保育所定員の拡大など、保育サービスを充実するとともに、常設子育てサロンの拡大、子育て世帯専用の市営住宅建設など、地域に密着した子育て支援体制を充実します。また、切れ目のない母子保健サービスを提供できる体制を整備するなど、母子の健康支援を推進します。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)		
施策1 子育てと仕事などの両立支援								
	保育所整備事業	7,451,000	2,507,177	1,805,459	2,440,376	1,992,343	8,745,355	117.4
	家庭的保育事業	462,000	15,607	67,624	135,045	161,882	380,158	82.3
	事業所内保育施設の設置促進	40,000	0	27,200	14,078	12,327	53,605	134.0
	認可外保育施設運営支援事業	417,000	0	67,891	209,737	266,735	544,363	130.5
	私立幼稚園預かり保育運営支援事業	154,000	0	17,288	63,571	91,805	172,664	112.1
	ミニ児童会館等の新設	535,000	66,232	182,250	142,787	153,436	544,705	101.8
	放課後児童クラブの充実	688,000	63,485	185,203	218,255	221,991	688,934	100.1
	ワーク・ライフ・バランスの推進	40,000	420	180	234	350	1,184	3.0
	病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)	10,000	0	80	2,150	1,601	3,831	38.3
施策2 子どもと母親の健康支援								
	子ども医療費助成制度の拡充	146,000	0	52,247	56,115	58,711	167,073	114.4
	母子保健の充実	150,000	30,693	0	0	11,595	42,288	28.2
	(仮称)救急安心センターさっぽろの設置【再掲】	263,000	3,557	24,455	123,381	110,244	261,637	99.5
	ちゅうおうスタイル食育事業～未来につなげる食の大切さ～	3,000	0	1,122	1,035	1,039	3,196	106.5
施策3 地域での子育て支援の充実								
	地域子育て支援拠点事業	418,000	14,442	41,168	59,065	111,507	226,182	54.1
	区保育・子育て支援センター整備事業	594,000	230,933	0	3,310	89,769	324,012	54.5
	子育て支援住宅の建設(市営住宅東雁来団地新設)	2,235,000	3,413	1,260,120	192,340	836,656	2,292,529	102.6
	病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)【再掲】	10,000	0	80	2,150	1,601	3,831	38.3
	健やかな子育て支援事業～親子で元気ところからだ～	4,000	420	623	675	509	2,227	55.7
重点課題合計		13,620,000	2,936,379	3,732,990	3,664,304	4,124,101	14,457,774	106.2

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 子育てと仕事などの両立支援							
保育所整備事業							
1 保育所定員数		19,008人 (H23.4.1)	20,198人 (H24.4.1)	21,407人 (H25.4.1)	22,587人 (H26.4.1)	24,217人 (H27.4.1)	23,008人 (H27.4.1)
家庭的保育事業							
2 保育ママ数		6人	11人	21人	30人	40人	40人
事業所内保育施設の設置促進							
3 事業所内保育施設設置補助件数(累計)		—	0件	9件	13件	17件	8件
認可外保育施設運営支援事業							
4 児童福祉施設最低基準を満たす施設への補助件数		—	—	8件	11件	11件	10件
5 市の認可外支援基準を満たす施設への補助件数		—	—	6件	16件	17件	44件
私立幼稚園預かり保育運営支援事業							
6 預かり保育を実施する私立幼稚園に対する補助件数		—	—	28件	37件	39件	70件
ミニ児童会館等の新設							
7 放課後の居場所のある小学校区数		164校区	169校区	178校区	187校区	197校区	202校区
放課後児童クラブの充実							
8 放課後児童クラブの対象学年		1～3年生	1～4年生	1～5年生	1～6年生	1～6年生	1～6年生 (25年度)
9 児童クラブの開設時間		8時45分～18時	8時45分～18時	8時～19時	8時～19時	8～19時	8時～19時 (24年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進							
10 認証取得企業数		258社	304社	369社	412社	459社	650社
病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)							
11 利用件数(病児・病後児)		700件	805件	636件	1,119件	956件	1,024件
施策2 子どもと母親の健康支援							
子ども医療費助成制度の拡充							
12 子ども医療費助成の助成対象		小学生まで 助成対象	小学生まで 助成対象	中学生まで 助成対象	中学生まで 助成対象	中学生まで 助成対象	中学生まで 助成対象 (24年度)
母子保健の充実							
13 情報システムの整備		—	設計	稼働	稼働	稼働	稼働 (24年度)
(仮称)救急安心センターさっぽろの設置【再掲】							
14 電話相談窓口の開設		—	—	—	開設	90人/日	開設 (25年度)
ちゅうおうスタイル食育事業～未来につなげる食の大切さ～							
15 中央区食育ネットワーク会議の設置		—	未設置	設置	設置	設置	会議設置と協働事業の実施
16 食育事業参加者数		294人	327人	463人	1,154人	1,602人	360人
施策3 地域での子育て支援の充実							
地域子育て支援拠点事業							
17 常設子育てサロン設置箇所数		11カ所	31カ所	32カ所	49カ所	71カ所	97カ所
区保育・子育て支援センター整備事業							
18 区保育・子育て支援センター設置箇所数		6カ所 (H23.4.1)	7カ所 (H24.4.1)	7カ所 (H25.4.1)	7カ所 (H26.4.1)	8カ所 (H27.4.1)	8カ所 (H27.4.1)
子育て支援住宅の建設(市営住宅東雁来団地新設)							
19 子育て世帯専用市営住宅の整備戸数		—	—	—	—	40戸	40戸
病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)【再掲】							
20 利用件数(病児・病後児)		700件	805件	636件	1,119件	956件	1,024件
健やかな子育て支援事業～親子で元気ところからだ～							
21 地域の子育て支援者への研修(累計)		1回	2回	4回	6回	7回	8回
22 リズム運動参加親子数		98組	99組	145組	129組	143組	200組

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証	(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)	
市民意識・行動指標							
1	子どもを生み育てやすい環境だと思う人の割合	54.6% (22年度)	53.2% (23年度)	55.2% (24年度)	60.7% (25年度)	59.8% (26年度)	70% (26年度)
		保育所の定員増など、子どもを生み育てやすい環境整備に対し、一定の評価を得られているものと考えられるが、目標値には至らなかったことから、更なる環境整備、情報発信等が必要である。					
2	子育てに関して不安や負担感を持つ保護者の割合	46.7% (20年度)	65.1% (23年度)	54.8% (24年度)	56.8% (25年度)	54.3% (26年度)	40% (26年度)
		最も評価の低かった23年度末の実績値からは改善しているものの、経済的な不安・負担などの理由から、目標達成には至らなかった。今後も様々な面から、子育て世帯の負担軽減の取組を進めていく。					
3	仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合	38.8% (22年度)	44.2% (23年度)	47.4% (24年度)	48.6% (25年度)	47.3% (26年度)	60% (26年度)
		社会的にワーク・ライフ・バランスに関する制度整備が進んでいるとともに、本市においてワーク・ライフ・バランスに関する普及啓発等を行ったことにより、数値が上昇傾向にあると考えられる。今後も更なる普及啓発や支援の充実が必要である。					
4	希望した時期に希望した保育サービスを利用できた人の割合	45.0% (22年度)	49.7% (23年度)	54.8% (24年度)	63.9% (25年度)	65.6% (26年度)	60% (26年度)
		保育所整備による定員増、延長保育実施施設の増加、一時保育実施施設の増加などにより、保育サービスの充実が図られ、目標値を達成できたと考えられる。					
5	(就労等による留守家庭の場合)子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思う人の割合	— (22年度)	33.3% (23年度)	39.1% (24年度)	59.7% (25年度)	56.5% (26年度)	60% (26年度)
		23年度末の実績値からは上昇しているものの、目標値には至らなかった。その一因としては、より安全な放課後の居場所として小学校内に設置されているミニ児童会館に対するニーズが高まっていることが考えられる。					
6	子育てについての相談体制に満足している人の割合	38.2% (22年度)	37.0% (23年度)	33.4% (24年度)	32.8% (25年度)	36.0% (26年度)	60% (26年度)
		身近な場所でも相談できるよう環境整備を進めているものの、現状値からはほぼ横ばいで、目標値を下回っている。今後、子育て支援情報の効果的な情報発信について検討していく。					
社会成果指標							
7	保育所待機児童数	1,339人 (23年度)	1,389人 (24年度)	757人 (25年度)	602人 (26年度)	661人 (27年度)	0人 (27年度)
		保育所や小規模保育の整備などにより、23年度の現状値からは減少している。今後も保育を必要とする全ての方が必要なサービスを受けられるよう、さらに取組を進めていく。 ※待機児童数には、特定保育所のみ希望し入所していない児童数も含む。また25年度から、主に自宅で求職活動を行っている世帯の児童数を除いて計上している。					
8	札幌圏で育児休業を取得した人数	9,763人 (22年度)	11,086人 (23年度)	12,491人 (24年度)	13,605人 (25年度)	15,913人 (26年度)	13,000人 (26年度)
		子育てをしながら就労を継続したいと望む女性が増えるとともに、企業側でも人材確保の面から、就労継続に向けた環境整備に努めたことが、数値の上昇をもたらしたと考えられる。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり
事業実績、評価、今後の取り組み等		
施策1	子育てと仕事などの両立支援	
26年度の主な取組内容(実績)		
私立保育所の新設等に補助し、定員1,630人増。	事業所内保育施設設置費の一部を補助(4件)。	
私立幼稚園預かり保育運営費の一部を補助(39件)。	ミニ児童会館8カ所、放課後子ども館2カ所を整備。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
<p>【保育所整備事業】1,630人分の定員増を行い、27年4月1日現在の待機児童数は661人となったが、このうち特定保育所のみ希望し入所していない592人を除く待機児童数69人(厚生労働省への報告数)は、昨年(323人)と比較して減少している。待機児童数0人達成に向け、引き続き保育需要に対応した柔軟かつ積極的な保育所整備の実施が必要である。</p> <p>【ミニ児童会館等の新設】ミニ児童会館を8カ所、放課後子ども館を2カ所整備し、より多くの子どもの安全で安心な放課後の居場所の確保に努めた。</p>		
施策2	子どもと母親の健康支援	
26年度の主な取組内容(実績)		
26年10月より、5歳児健診・発達相談を全区で実施。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【母子保健の充実】5歳児健診・発達相談の開始により、3歳児健診から就学前までの子どもへの支援の充実につながり、「子育てについての相談体制に満足している人の割合」の上昇に貢献できた。</p>		
施策3	地域での子育て支援の充実	
26年度の主な取組内容(実績)		
常設子育てサロンを22カ所増設。	南区保育・子育て支援センターの耐震改修工事及び開設準備(H27年4月開設)。	
子育て支援住宅完成(1号棟・40戸)、入居開始。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
<p>【地域子育て支援拠点事業】育児に関する相談をしたり、地域の親子が自由に集い、交流したりできる場を増やすことで、子育て家庭の不安や負担感を軽減することに貢献している。</p> <p>【区保育・子育て支援センター整備事業】保育所入所申込はもとより、子育てサロン、子育て相談等についても多数の利用者が訪れており、子どもを生き育てやすい環境づくりに一定の成果をあげている。</p>		
協働の状況		
<p>【放課後児童クラブの充実】児童会館・ミニ児童会館の活動に、市民ボランティアの協力を得ながら、地域全体で子どもを育てていく環境づくりに取り組むとともに、企業とも連携した行事の企画なども行っている。</p> <p>【子育て支援住宅の建設(市営住宅東雁来団地新設)】子育て世帯に対してアンケート調査を行い、その意見を参考にしながら建物の設計や計画などを行った。</p>		